

第31回（平成24年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校低学年の部＞応募総数：34

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	足摺岬小学校	1年	戒井 裕人	「こわがりのかえるぼうや」をよんで
優 秀	幡陽小学校	1年	松本 れな	「へいわ」をよんで
	下川口小学校	2年	遠近さくら	「うみべのほいくえん」
入 選	三崎小学校	2年	弘瀬 舞	「ありがとう かさぶたくん」
	下川口小学校	1年	酒井 章伍	「だんごむしみつけたよ」をよんで
	足摺岬小学校	1年	切詰 小蒔	「さかなださかなだ」をよんで
	幡陽小学校	2年	畠中 由斗	「おおきくなるっていうことは」をよんで

【審査評】

- ・全体的に物語の感想が多く、科学読み物の作品は少なかったです。今年の課題図書感想もありませんでした。内容としてはあらすじが多かったり、自分のことが中心になりすぎている作品が多数ありましたが、1・2年生が原稿用紙2枚に一生懸命書いている姿が見うけられました。
- ・入選作品は低学年らしく作品の内容と自分の生活や体験などを重ねて書けていました。
- ・題名の書き方や作品のとじ方がバラバラで、記入もれの項目があるものもありました。また、原稿用紙の使い方、「」の使い方、誤字、脱字なども気になりました。出品の際には再度確認をお願いします。

第31回（平成24年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校中学年の部＞応募総数：110

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	窪津小学校	3年	小川 亮	「二十七世紀の発明王」を読んで
優 秀	下ノ加江小学校	4年	中井 冴風	「いっぽんのえん筆の向こうに」を読んで
	清水小学校	4年	角田 七海	お母さんありがとう
入 選	清水小学校	3年	半田 匠	犬づか
	幡陽小学校	3年	岡 佳音	「ここがわたしのおうちです」を読んで
	幡陽小学校	3年	近藤 秀徳	「イルカの知られざる世界」を読んで
	下川口小学校	4年	新谷 和征	「ベトちゃんドクちゃんからのてがみ」を読んで
	下ノ加江小学校	4年	横山 仁大	「ぼくの村にサーカスがきた」を読んで

【審査評】

- ・市内の全小学校からの応募があり内容も色々なジャンルの本を題材に選んでいて読書の幅の広さを感じた。
- ・自分の体験を織り交ぜながら書かれた作品が多かった。
- ・題を工夫している作品が多かった。
- ・句点ごとに段落を変えていたり、漢数字を使わずアラビア数字を文中で使っている作品があったので表記の仕方について推敲の際気を付けたい。
- ・内容は良いのに枚数が足りていない作品があり残念だった。

第31回（平成24年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜小学校高学年の部＞応募総数：46

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	下ノ加江小学校	6年	山本 理子	折り鶴の子どもたちを読んで
優 秀	幡陽小学校	6年	中平 笑子	「さびしくないよ」を読んで
	足摺岬小学校	5年	田村 寿珠	二本足の犬次郎を読んで
入 選	幡陽小学校	6年	近藤 玲那	「シマが基地になった日」を読んで
	足摺岬小学校	6年	山下 慧樹	オリンピックヒーローたちの物語を読んで
	下川口小学校	5年	新谷 愛美	「おりづるの旅」を読んで
	足摺岬小学校	5年	福山 七瀬	「若草物語」を読んで
	清水小学校	5年	浦本 愛	ぼくのおじさん

【審査評】

- ・忙しい中の取り組みに感謝します。
- ・時間がとりにくい中で推敲の時間が十分でなかったためか、文章が繰り返されている表現が見られた。
- ・学年に合った本選びが大切である。
- ・あらすじが多かったり本から離れた生活文になったりしている文章が見られたので、感想文の書き方の学習の必要性を感じる。
- ・読書を通じて夢が見られるような感動をしていけば良いのではないか。
- ・全員がよく頑張っていました。

第31回（平成24年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

＜中学校の部＞応募総数：34

	学校名	学年	氏名	題名
最優秀	清水中学校	1年	熊谷 雅桜	自由を求めて～アマンダと共に～
優 秀	下川口中学校	2年	田村 朱香	小さいけれど大きい命
	足摺岬中学校	3年	松下 愛良	「心のおくりびと」を読んで
入 選	清水中学校	1年	坂下麻奈佳	「自分の力で」
	三崎中学校	1年	柿内 英雄	「ぼくらの大冒険」を読んで
	下川口中学校	2年	村井 愛実	「あなたが世界を変える日」を読んで
	下ノ加江中学校	3年	横山 文乃	春のオルガンを読んで
	三崎中学校	3年	山本 晃暉	「命をつなぐ250キロメートル」

【審査評】

入選した作品は、考えを深め広げることのできる本を読んで書かれたものが多く、その点からも「夏休みに読むこの一冊」の大切さを考えさせられました。また、感想を書くためには、日頃から、自分の中に考える言葉や、物語に触れて感動する心や課題意識を持っていることが大切だと思われます。忙しい中学生活ですが、折にふれて読んだり書いたりする習慣を持ってほしいと思います。

第31回（平成24年度）土佐清水市読書感想文コンクール入選作品一覧

<高等学校の部>応募総数：205

	学校名	学年	氏名	題名
入選	清水高等学校	1年	上田 怜	1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記
	清水高等学校	2年	上原 歩香	「西の魔女が死んだ」を読んで
	清水高等学校	3年	吉永 佳奈	「夏の庭」を読んで